

野口英世アフリカ賞

平成25年3月
内閣府野口英世アフリカ賞担当室

1 野口英世アフリカ賞とは

- (1) 2006年5月の小泉総理(当時)のガーナ訪問時、ガーナで亡くなった野口英世博士の功績に因み、本賞について着想。2006年7月閣議決定にて創設。
- (2) アフリカで蔓延している感染症等の疾病対策のために貢献した個人・団体を顕彰する賞。分野は医学研究・医療活動の2分野。
- (3) 授賞式は5年に一度開催されるTICAD(アフリカ開発会議)の際に実施(2008年の第1回授賞式には天皇皇后両陛下御臨席)。次回、第2回授賞式は2013年6月1日～3日に横浜で開催予定の第5回アフリカ開発会議(TICAD V)の機会に実施予定。本件について、2012年4月閣議了解を実施。

2 選考プロセス及び今後の主な予定

野口英世アフリカ賞委員会

座長: 黒川清
政策研究大学院大学教授

事務局: 内閣府野口英世
アフリカ賞担当室

3件

推薦

3件

医学研究分野推薦委員会

事務局: 日本学術振興会(JSPS)

医療活動分野推薦委員会

事務局: WHO/AFRO(アフリカ地域事務局)

推薦
各分野1件

○受賞者最終選考会合(2013年2月)

○受賞者総理決定(2013年3月)

○受賞者発表 (2013年3月)

○授賞式及び記念晩餐会
(2013年6月1日)

内閣総理大臣
による
受賞者決定
(2013年3月)

3 第2回授賞式及び関連プログラム(日程案)

6月1日(土)晩(於: パンパシフィック横浜ベイホテル東急)

第2回野口英世アフリカ賞授賞式・記念晩餐会

横浜プログラム

- 横浜市長主催昼食会
(於: 市長公舎(予定))
- 横浜市主催記念式典
(於: 長浜 野口英世記念公園)

福島プログラム

受賞者による福島訪問

- 野口英世記念館視察
(於: 猪苗代町)
- 歓迎式典
(於: 会津若松市)
- シンポジウム
(於: 会津大学)

東京プログラム

- 受賞者
記念講演会
(於: 国連大学)

4 第1回受賞者(2008年)



ブライアン・グリーンウッド博士(英国)

ロンドン大学熱帯衛生医学校
教授。1938年生まれ。

受賞業績:
アフリカでの30年以上にわたるマラリアをはじめとする感染症の免疫病理学、疫学、人類学、行動学等に及ぶ多角的研究と実践対策に功績。



ミリアム・ウェレ博士(ケニア)

ケニア国家エイズ対策委員会
委員長。1940年生まれ。

受賞業績:
40年間にわたり、地域レベルでの医療サービスの提供の実践面に焦点を当て、アフリカの人々の健康と福祉の増進に献身。